



「社会福祉」に思うこと

鴨居地区社会福祉協議会

事務局長 小宮山 政行

令和元年の総会から事務局長を仰せつかり早一年になろうとしている。

身のまわりに移る風景を振り返ると、...

・街路灯に守られて夜道を帰り、ゴミを毎日出すのに自治会には入ろうとしないし、わずかな自治会費も払わない。

・4階建てのアパートに住んでいる1階の住人がエレベーターや老化等の電気料金が4階の住人の何倍も過剰に負担している、などと家主や企業や行政に苦情を持ち込む。

昔から、秋深し隣は何をする人ぞ、と言われてきた。が、今は町の安全を守る交番ですら、自分の町に誰が住んでいるのか「個人情報提供を拒否」され、実態調査が困難だと言う。なぜこんな世の中になってしまったのであろう。

自分も隣人も、誰もが他人の存在を知らない。存在すら知られたくない。やがて、親から授かった個人の名前の存在がこの世の中からすべて消えていく！まさに、今や個人情報保護法が個人に反逆し始めている、人間を疎外しはじめてきているのだ。



事務局長 近影

無差別殺人で「誰でもよいから殺したかった」などと因果も何もない悲しくて空しい事件の続発がその兆しの一部であるに違いない。

被害に遭遇した家族の人生は誰も守ってくれないし保証もない。これが先進国として経済発展を遂げてきている日本の街の風景である。これが本当に発展している地域社会なのであろうか...

弱者のために貢献している社協の仲間にあえて、明るい兆しが見えたのは幸いである。

新型コロナウイルスで

鴨居地区社会福祉協議会

書記 鈴木 道子

今年初めには誰も想像しなかった状況になり、鴨居地域の社会福祉の面でも大きな穴が開きました。2月15日前後まで手洗いやマスクなどで気をつけ、高齢者の施設訪問もできましたが、20日過ぎからは中止の連絡が頻繁に入るようになりました。緑区社協の大きな行事である2月28日の緑区社会福祉大会が取りやめになりました。また鴨居民児協と鴨居社協で行っている福祉講演会も中止いたしました。



鴨居地域ケアプラザの施設利用中止が最初は3月1日から15日まででしたが、今は31日まで延びました。多くの研修や会議がなくなり、ケアラ食事会やれんげの会は中止、鴨居会館食事会は会食を配食に切り替えました。利用できなくなったことで、改めてケアプラザの有難さを感じています。

在校生や保護者や地域の人々と一緒にお祝いできなかった今年の卒業生のことを思いますと胸が痛みます。また様々な場所での最後の発表、最後の試合、最後の集まりなどができなかった皆様の悔しさを紛らわせるのは、これからの嬉しさや楽しさでしょう。

手垢のついた「安心・安全」の意味をもう一度ブラシをかけて磨き、穏やかな社会と希望の持てる未来を若い方に引き継ぎたいと思っています。



れんげの会 活動終了にあたって

れんげの会代表 湯川 芳子

れんげの会は、平成4年に行政の導きで中途障がい者のリハビリ教室としてスタートしました。当初は東幼稚園にてリハビリ体操を行いながら語らいの場、8年にボランティア団体として鴨居地区社協の一員として助成金による活動を始めました。

鴨居会館、鴨居地域ケアプラザにて27年あまり活動してまいりましたが、取り巻く環境の変化に伴い継続困難になりまして、お仕舞いに至りました。

桜の時季の竹山散策を始め、いろいろな場所へお出かけしました。また、色紙に書いた書道、折り紙、押し花、ぬり絵、ポッチャ、リハビリ体操など、盛りだくさんのリハビリをしてきました。

会員、ボランティア、関係者の皆さま、心より御礼申し上げます。有難うございました！



ぱくぱく食堂開始

鴨居地区民生委員・児童委員 西川 克美

昨年の10月にプレオープンしていた「鴨居こども食堂ぱくぱく」(通称 ぱくぱく食堂)が4月から本格始動します。これは鴨居地区民生委員・児童委員と鴨居地域ケアプラザ、緑区社協、鴨居地区社協、鴨居連合自治会の協力で始まりました。毎週木曜日 午後6時から鴨居地域ケアプラザにて 大人300円、子ども100円(中学生以下)で軽い夕食を提供しています。

プレオープンの間は親子一組となかま塾(中学生)4人に提供し、ケアプラザの調理室の使い方を覚えたり、子どもの好きそうなメニューを考えたりとスタッフはいろいろなノウハウを積んできました。



「よし!この調子!」と思った矢先に新型コロナウイルスの影響で3月はお休みになりましたが、4月の開始に向けての準備ができました。早く始めたくてうずうずしています。

徐々に参加人数を増やして、たくさんの笑顔があふれる食堂にしていきたいので、皆様のご支援、ご協力をお待ちしています。

杉浦真由美さん 受賞おめでとう!

第38回緑区社会福祉大会で地区社会福祉協議会の活動に9年以上携わり功績のあった方として、鴨居地区社協の杉浦真由美さんが受賞されました。拍手!パチパチパチ・・・

福祉大会は中止となり、その後の簡略化した授賞式にも残念ながら欠席されたので、表彰状と記念品は自宅に届けられました。

～編集後記～

今年は記録的な暖冬でした。思えば、霜が降りることもなかったような気がします。過ごしやすかった半面、季節感が無かったように思います。と、3月も終わろうとしているこの時期に雪!前日は24度で暑かったくらいなのに!? ..、今年は、正に“異常気象”なのでしょうか。

春を迎えて、桜も早くも満開。桜まつりなどいろいろな行事が中止になってしまい寂しい限りですが、早く新型コロナが終息して、にぎやかな街の風景にそこかしこで出会える日が早く訪れることを、心から願っています。